

畜産日報

DAILY MEAT & LIVESTOCK

●発行所 株式会社 食品産業新聞社

本社 〒110-0015 東京都台東区東上野2-1-11 サンフィールドビル TEL03(6231)6091 FAX03(5830)1570
大阪支局 〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-15 若杉ランドビル別館 TEL06(6881)6851 FAX06(6881)6859
ホームページ <http://www.ssnpc.co.jp>

●購読料(前納) 6ヵ月39,585円 / 1年76,860円(税込み)

本社の定期刊行物

(週2回刊) 食品産業新聞
(日刊) 大豆油糧日報
(日刊) 米麦日報
(日刊) 畜産日報
(日刊) 酒類飲料日報
(日刊) 冷食日報
味噌醤油年鑑
食品産業年鑑
(月刊) 麺業界
(月刊) 米と流通
(月刊) メニュー・アイデア

2012年(平成24年)

2月6日 月曜日

第12826号

CONTENTS

禁無断転載

- **2月の鶏肉需給展望** モモ肉は610~620円で推移、ムネ肉は200円前後か…………… 2
輸入量は3月には減少か、在庫縮小で相場は上昇へ
- 牛用飼料の放射性セシウム許容値、100ベクレル/kgに改訂—農水省…………… 3
- 豚人工授精技術、食肉脂質測定装置、O111検出キット開発など表彰—農水省…… 3
- 1月第5週の食肉購入1.2kg増82.3kg、豪州産牛、国産鶏肉が増加—機構POS… 4
- 畜産物価格の決定に向け議論開始、15日に畜産部会を開催—農水省…………… 4
- プリマハム第3四半期は増収増益、経常利益70億円など過去最高益に…………… 4
- 「工場監査項目」、20種に及ぶ用途・目的別バージョン策定—農水省FCP…… 5
- 3月に2会場で「食品工場フォーラム」開催—大成建設…………… 5
- 食肉卸売業者クリオネが自己破産申請、負債は約5.6億円…………… 5
- 国産鶏肉豚肉ハンバーグなどBESTブランド23品、JG14品—日東ベスト…………… 6
- ちくさんマンボ ケンミンショーで「花ソーセージ」をみました…………… 6
- 引き続きベスト3は不動、日ハムフレッシュハーフが初登場4位—11年ベーコン… 7
- △ 関西輸入牛内臓仲間相場(2月3日)…………… 7
- △ 日本食肉流通センター交雑牛チルド相場[3]…………… 7
- △ 牛枝肉相場・豚枝肉相場・流通センター豚部分肉相場(2月3日)…………… 8
- 資料—POSデータによる売れ筋商品ランキング④(2011年・ベーコン)…………… 9
- 資料—2011年12月分・食肉関係輸入通関実績④…………… 10・11



食品産業のトレンドを読む食品の総合紙

いま、食品業界はインターナショナル、ボーダレスの時代。異業種、他の業界がどのような動きにあるのか、また、食品産業のトレンドは何か。食肉業界にとっても、食品産業全体の動きを先取りし、新たな動きに対応していくことが求められています。そのニーズに応えるのが「食品産業新聞」です。

発行:週2回(月、木曜日) ブランケット判、購読料:6ヵ月24,150円(税込み)

2月の需給展望 ＜豚肉＞

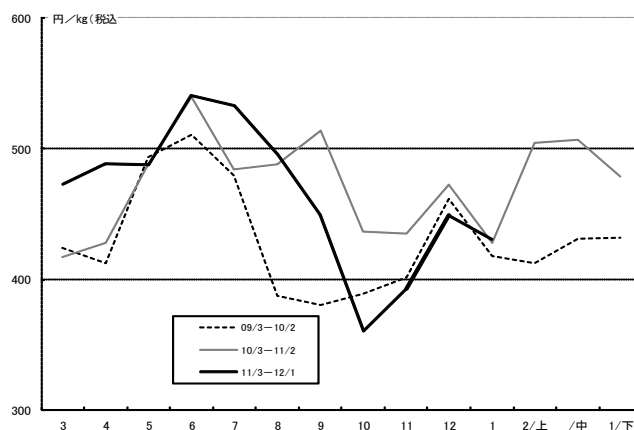
2月は月初に 430～440 円、その後は 400 円前後か
手当て買いと雪による出荷減などが重なれば 450 円超えも

2012 年 1 月の東京食肉市場の上物平均価格は 431 円 (税込) と、前月比 18 円安となった。12 月は 449 円と盛り上がり欠けたが、年明けは在庫手当てで引き合いが多く、月末は 400 円を割り込んだものの、中旬まで堅調に推移したことで 1 月としては高め相場となった。2012 年 2 月は、農水省の肉豚出荷予想は前年比 102% の 133 万 1,000 頭としている。閏年の関係で前年に比べ開設日が 1 日多いにもかかわらず 2% 増にとどまり、1 日当たり (21 日で計算) では 6 万 3,400 頭と、1 月予測 (1 日当たり 7 万 2,800 頭) を 9,400 頭前後下回る見通し。相場は、出荷が少なめとみられる中で、月初に手当てが入り 430～440 円、場合によっては 450 円を一時的に超す場面も想定される。しかし、量販店の手当てが一段落すれば、上げ要因は見つからず、下旬は再び 400 円前後から 380 円まで下げると見込まれる。

【供給見通し】農水省食肉鶏卵課の肉豚出荷予測によると、1 月は 101% の 138 万 3,000 頭 (1 日当たり 7 万 2,800 頭)、2 月は 102% の 133 万 1,000 頭 (同 6 万 3,400 頭)、3 月は 101% の 140 万 5,000 頭 (同 6 万 6,900 頭) を見込んでいる。2 月は前年を 2% 上回るが、閏年の関係で開設日が 1 日多く、1 日当たりで試算すると (21 日開設) 6 万 3,400 頭前後と、1 月の予測の 7 万 2,800 頭を 9,400 前後下回ると見込まれる。また、1 月末からの冷え込み、日本海側でのドカ雪で出荷に影響が出ることも懸念される。また、市場関係者は、「1 月中は発育も良く早出しが行われ、その分、2 月の出荷は少ないのではないか」、「2 月は雪と強い寒波もあり、出荷がずれ込む懸念がある。生育が進まない中で、豚舎が一杯であれば、小さめで出荷し、適正体重の豚の出荷は少なくなるのではないかとみている。

一方、チルド輸入は、11 月に 2 万 3,325 t (112.5%)、12 月に 2 万 116 t (94.5%) と、12 月は国産相場に割安感があつたことで前月比 3,000 t 減少したものの、2 万 t の大台を維持した。1 月輸入は月後半は絞られたとみられ、農畜産業振興機構の予測でも 1 万 8,800

東京市場の豚枝肉相場(上物)の推移



t (105%) と少なめを見込むが、2 月は 2 万 300 t (112%) と再び 2 万 t 台を見込む。

【需要見通し】1 月は年末年始の量販店の販売が好調だったことで、手当て買いが入り、さらにすぐに成人の日の連休が入ったことで数量がそろわなかったこともあり、東京市場の相場は 11 日には 484 円まで上げた。豚肉の需要は、1 月に入ってから好調で、物量は動き、特にバラの引き合いが多かった。ただ、このところ量販店では月初に国産を手当てし特売を行うものの、中旬以降は輸入にシフトするとの販売パターンになっており、中旬以降は国産の手当てが極端に減る傾向にある。このため 1 月も後半以降は、極端に引き合いが少なくなっている。2 月は同様のパターンが見込まれるが、量販店では 2 月期決算が多く、在庫も絞り気味になってくるとみられる。

【価格見通し】1 月の東京食肉市場の枝肉相場 (上物) は、在庫補充の手当て買いで月初に上昇、17 日まで 450 円台を維持し、その後下げたものの、1 月平均では 431 円となった。2 月 1 日は前日比 14 円高の 407 円を付けており、1 月と同様に月初に量販店の手当てが入り 430～440 円に上昇、雪の影響による出荷の状況によっては一時的には 450 円を越す場面も出てくる見通し。しかし、中旬以降は量販店が輸入にシフトすることで下げに転じ、400 円前後から 380 円まで下げる見通し。月平均では 400～420 円とみられる。

○ 牛肉は前年並みの4.6万t、豚肉は13%増の6.8万t－12月主要畜産物輸入
鶏肉は38%増の4.6万tと大幅増加、家きん調製品も11%増の4万t

財務省が30日に発表した貿易統計によると、12月の牛肉輸入量は4.6万tで前年同月比0.8%減少、豚肉は同12.7%増の6.8万t、鶏肉は同37.5%増の4.6万t、家きん調製品が同10.8%増の4.0万tに上った。本紙予想よりそれぞれ1千弱少ないが、うち鶏肉は同年8月(4.8万t)に次ぐ大量輸入となった。

【牛肉】12月はチルド、フローゼンともに前月から減少して前年同月比0.8%減少した。チルドは豪州産が前年割れとなったものの、米国が大幅に増加したほかNZが増えて合計で前年実績をわずかに上回った。逆にフローゼンは豪州産がバラ中心に大きく増加したが、合計ではわずかに前年割れとなった。11年は震災や生食事件、セシウム問題などが相次ぎ牛肉需要は例年より増して厳しい状況となったが、年間累計では米国産の増加が寄与して、牛肉・内臓ともに10年に続いて伸長した。

【豚肉】前月から9千t弱減少して7万t台を割ったものの、前年同月比12.7%増と4

カ月連続で前年増が続いている。チルドも引き続き2万tの大台を超え、フローゼンも22.7%増と大幅増加した。年間の累計でも、震災の影響や牛肉需要の低迷もあり、フローゼンが3.3%増、チルドに至っては10.0%増と2ケタの伸びとなった。

【鶏肉・その他】鶏肉は前月から5,600t増加、前年同月比で37.5%もの大幅増加となった。12月だけに通関が増えたものと見られるが、国内在庫も多めに推移してきたことから、年度末に向けて在庫圧迫が懸念される。家きん調製品も10.8%増となり、累計でも14.8%増と大幅な増加となった。うち、中国産は2万1,380t(前年比82.3%増)、タイ産が1万7,862t(同2.5%減)、累計ではそれぞれ21万9,952t(同22.4%増)、20万3,276t(同6.9%増)と拡大した。羊肉も産地価格の低下と年末需要もあり、前年同月比9.0%増となったが、馬肉は産地高と国内需要の低迷で同11.0%減、累計でも前年比10.4%減少した。

△2011年12月分主要食肉輸入量

(単位:t,円,カッコ内前年比%)

			12月輸入量	対前月 増 減	平均キロ単価 (前年:円)	1～12月累計
牛	チルド	枝肉・半丸	0 (前年 -)	0	- (-)	0 (前年 -)
		その他骨付肉	2 (前年 4)	-4	1,617 (974)	61 (135.6)
	骨付でない肉	18,391 (101.0)	-1,761	549 (532)	216,339 (102.3)	
	小 計		18,393 (101.0)	-1,765		216,400 (102.3)
肉	冷凍	枝肉・半丸	0 (前年 -)	0	- (-)	0 (前年 -)
		その他骨付肉	72 (37.9)	-65	527 (566)	1,596 (83.8)
	骨付でない肉	27,136 (98.5)	-312	304 (311)	302,236 (105.6)	
	小 計		27,209 (98.1)	-376		303,831 (105.5)
合 計		45,602 (99.2)	-2,142		520,231 (104.1)	
牛臓器及び舌			3,295 (99.9)	-375	786 (735)	44,192 (105.8)
豚	チルド	枝肉・半丸	0 (前年 0.1)	0	- (1,596)	1 (前年 1)
		骨付部分肉	35 (47.9)	8	474 (481)	337 (68.2)
		その他の他	20,081 (94.6)	-3,217	524 (522)	254,076 (110.1)
	小 計		20,116 (94.5)	-3,209		254,414 (110.0)
	冷凍	枝肉・半丸	0 (前年 1)	0	- (1,649)	3 (前年 6)
		骨付部分肉	129 (106.6)	-2	525 (526)	1,367 (95.4)
その他の他		47,308 (122.7)	-5,769	526 (524)	537,263 (103.3)	
小 計		47,437 (122.7)	-5,771		538,633 (103.3)	
合 計		67,553 (112.7)	-8,980		793,047 (105.3)	
羊	チルド	子羊の枝肉・半丸	0.1 (前年 -)	0.1	1,929 (-)	6 (前年 8)
		その他の他	490 (105.2)	48	882 (842)	6,000 (92.2)
		小 計	490 (105.2)	48		6,006 (92.2)
	冷凍	子羊の枝肉・半丸	0 (前年 12)	-4	- (448)	403 (107.8)
		その他の他	805 (113.4)	96	573 (510)	13,230 (110.0)
		小 計	805 (111.5)	92		13,633 (110.0)
合 計		1,295 (109.0)	141		19,638 (103.8)	
馬 肉			360 (89.0)	93	543 (473)	4,512 (89.6)
鶏	チルド	分割していないもの	2 (前年 2)	1.9	1,767 (2,211)	6 (前年 4)
		骨付ものも	0 (前年 -)	0	- (-)	0 (前年 1)
		その他の他	0 (前年 -)	0	- (-)	0 (前年 0.4)
	小 計		2 (前年 2)	1.9		6 (前年 6)
	冷凍	分割していないもの	348 (46.9)	-198	203 (179)	5,028 (106.4)
		骨付ものも	3,215 (165.3)	-91	176 (149)	25,247 (98.0)
その他の他		42,401 (137.9)	5,868	276 (245)	441,559 (113.3)	
小 計		45,963 (137.5)	5,579		471,834 (112.3)	
合 計		45,965 (137.5)	5,580		471,841 (112.3)	
家禽調製品			39,930 (110.8)	2,520	387 (365)	427,867 (114.8)

※注:小計、合計、累計の数値は、四捨五入の関係で別項の各食肉の表の数値と異なる場合がある。

○ 関東・関西輸入チルド牛肉仲間相場（1日）

（円、消費税含まず）

豪 州	グ ラ ス	ショートグレイン	ミドルグレイン
チャックロー	610 ～ 640	690 ～ 730	950 ～ 1,050
クロッド	550 ～ 590	590 ～ 640	650 ～ 700
チャックテンダー	630 ～ 660	650 ～ 700	750 ～ 780
キューブロー	1,600 ～ 1,700	1,900 ～ 2,000	2,450 ～ 2,600
ポイン	530 ～ 560	550 ～ 600	700 ～ 730
ナーベル	540 ～ 590	600 ～ 650	700 ～ 800
ストリップロイン	1,100 ～ 1,180	1,300 ～ 1,450	2,050 ～ 2,250
テンダーロイン	2,000 ～ 2,100	2,700 ～ 2,800	2,850 ～ 3,050
ラン	660 ～ 710	700 ～ 720	750 ～ 820
シクフランク	620 ～ 650	630 ～ 660	700 ～ 750
トッブサイド	650 ～ 700	670 ～ 720	750 ～ 800
シルバーサイド	550 ～ 590	560 ～ 600	650 ～ 700
セット・単品合計	720 ～ 770	800 ～ 860	990 ～ 1,070
（前年）	相場立たず		

【概況】ロインなど一部除き弱基調

全国的に寒い日が続く鍋物需要の盛り上がりには期待したいところだが、年末年始の消費疲れから末端需要も伸び悩んでいる。このためチルド現物の商いも薄く、「外食筋も含めて物量はそれなりに動いているのは確かだが、相場が付いて来ないため、ロインなど一部のアイテム以外はコスト割れしている」（卸筋）との悲鳴も聞こえる。関東・関西ともに、在庫が浅いアイテムは相場も横バイとなっている半面、捌き切れない玉は引き続き投げも出ているなど、在庫の多寡によって基調もバラツキとしている。全般的にロインは薄い、現地降雨の影響からグラスがひっ迫気味となり、その他グラスのランプやショートのナーベルも比較的堅調で、逆に、シルバーやクロッドといった切り落とし系アイテムがサッパリ動かず。この状況は入荷量の少ない今月中旬ごろまで続きそうだ。1月の船積み数量も7,150tと洪水の影響を受けた昨年同月よりも下回る見込みで、また年末年始は国産中心だった特売も輸入物に戻してくると見られ、薄いアイテムは唱えも戻してくる可能性も。

米 国	アングレ	チョイス	プライム
ステーキデ	1,300 ～ 1,400	1,500 ～ 1,600	—
テンダーロ	2,300 ～ 2,400	2,650 ～ 2,850	—
リブアイロ	—	2,000 ～ 2,200	—
チャックアイ	—	850 ～ 900	930 ～ 1,000
チャックリ	950 ～ 1,000	1,100 ～ 1,200	1,350 ～ 1,450
ショートリ	1,700 ～ 1,800	1,900 ～ 2,100	—
パストラミ	—	780 ～ 820	—
チャックフラ	950 ～ 1,050	1,100 ～ 1,200	1,350 ～ 1,450
フラップミ	—	1,100 ～ 1,200	—
リブフィン	900 ～ 1,000	1,000 ～ 1,100	—
カルビプレ	—	—	—

【概況】状況変わらず、外貨高で来月現物も厳しく

US産の商いも変わらず。入荷量はさほど多くはないものの、生産コスト高で荷動きの重い足元の現物をどう捌いてゆくか、厳しい状況が続く。特にチャックリブ、チャックフラップなどは比較的引き合いが良く、ソコソコ動いているものの、チャックアイは振るわず、ロイン系も品薄から相場を保っている状況だ。12月のチルド輸入は前年同月比62%増の大幅増となったが、うちチルフロ向けも含まれるため、実際にテーブルミート向けの量はそう多くないと見る向きもある。2月生産・3月現物玉のオファーも現地生体高などの影響で高値にあるようだが、国内需要も厳しいため日本サイドもかなりビッドを厳しくせざるを得なく、先も絞られるか。

△ 輸入豚肉、国産凍結豚肉仲間相場（2月2日）

△ 輸入凍結豚肉（関東仲間2次卸唱）		（消費税含まず）	
U S テンダーロイン	780～800円	△ 輸入チルド豚肉（関東仲間唱）	
〃 C C ロイン	560～570円	U S テンダー	820～840円
〃 ピクニック	480～490円	〃 C C ロイン	660～680円
〃 クッションミート	510～520円	〃 バックス	660～680円
〃 シーズンドボーク	460～480円	〃 パット	720～740円
カナダテンダーロイン（I W P）	850～900円	〃 ベリー（山付き）	700～710円
〃 バックス（ショート）	580～600円	〃 ピクニック	590～610円
〃 ハム	540～560円	カナダ テンダー	900～910円
〃 ピクニック	500～510円	〃 バックス	670～690円
〃 シートベリー	640～650円	△ 国産凍結豚肉（関東仲間唱）	
デンマークテンダーロイン	780～800円	ヒレ	750円 中心
〃 ロインMM	680～720円	ロース	750～780円
〃 精肉用ロイン	玉なし	かたロース	700円 中心
〃 ベリー	680～700円	うで	450円 中心
〃 カラー	550～560円	バラ	700円 中心
		もも	450円 中心

【概況】 輸入チルド1月輸入少なく浮遊玉なし

関東市場の豚価が月初の手当てで続伸する中、輸入チルドは1月の通関業務日数の関係もあって少なく、浮遊玉は出て来ない。輸入予想では1.8万t前後だが、これをさらに下回るとの見方も出ている。契約している顧客に流れるのみで、スポットの対応はできない状況。ただ、価格的に変動はない。輸入フローゼンは、2月に入っても動きは静か。輸入豚肉の都内在庫が、再び7.9万tと8万tを割り込むなど引き続き需給はタイト。

△ 関東ブロイラー、輸入ブロイラー仲間相場（2月2日）

国 産 品				輸入品現物				(円/kg)	
生	正 肉	モモ	570 ～ 590	正 肉	タ イ	モモ	—		
		ムネ	160 ～ 190			ムネ	—		
	ササミ		320 ～ 340		中 国	モモ	—		
	砂 肝		380 ～ 400			ムネ	—		
鮮	手 羽 先		360 ～ 380		ブラジル	モモ	280 ～ 300		
	手 羽 元		340 ～ 370		アメリカ	モモ	420 — 430		
凍 結 物	正 肉	モモ	440 ～ 480	モモ角切り	ブラジル		360 ～ 380		
		ムネ	140 ～ 180		タ イ		—		
	手 羽 先	(L)	170 ～ 220	骨付きモモ	タ イ	200 g 以上	—		
	手 羽 元	(L)	180 ～ 230		U. S.	L・Mサイズ	— ～ —	(玉薄)	
	サ サ ミ	(L)	170 ～ 190		ブラジル	200 g 以上	— ～ —	(玉薄)	

【概況】 相場下落止まらず、外食向けなどムネ正肉に明るい兆し

月初ということもあり、モモ正肉を中心に荷動きそのものは悪くないものの、それを超える出来高で荷余りは解消されない。厳しい寒さが続いていることから、鍋需要の高まりで手羽元の動きも良好。下落幅の大きいムネ正肉は、外食向けとして今後活発な動きが期待される。「これ以上、相場が下がれば凍結する」（大手荷受け筋）と、相場の底を読む。一方、輸入は各社とも差し控える傾向にあり、次期の成約は在庫一掃が見込まれる2月後半以降となる見通し。